

# 心豊かな人づくりを

## 第四回南国市生涯学習フェスティバル

第四回南国市生涯学習フェスティバル



五人の登壇者が意見を発表

生涯にわたり、自ら進んで主体的に学習することの重要性について考えようと、第四回南国市生涯学習フェスティバルが十一月十二日、大篠小体育館で約三百人が参加して行われました。これからの社会教育を考える」と題したシンポジウムでは、年齢も職業も違った五人の登壇者がそれぞれ生涯学習について発言し、コーディネーターの西森

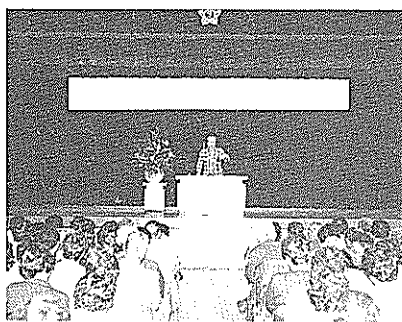
### フェスティバル

普郎児童小学校長がまとめていく形で進行。「夫婦でいっしょに学習を進めては」、「PTAに地域（COMMUNITY）を

## 健康のたいせつさ しみじみと

### 第1回健康づくり講演会

第一回健康づくり講演会が、十一月十九日に大篠小体育館で開かれ、約四百人が参加しました。この健康づくり講演会は、これからの高齢化社会に備え高齢者層の健康づくりに役立てようとするもので、第一回目の今回は脳内出血で倒れながらも見事



千秋実さんが講演

再起し、現在も第一線で活躍されている俳優の千秋実さんを講師に迎えました。千秋さんは「生きるなり」と題して約一時間半に渡って、自らの闘病生活を振り返り、病氣と闘っていく気持ちのたいせつさや、日ごろから信頼できる医師の存在の必要性を語り、参加者は熱心に聞き入っていました。

含め、親と先生と地域の会PTCAを作っては」などの意見が出されました。引き続き行われた記念講演では女優・声優の大山のぶ代さんが、家庭でのしつけの大事さや子供のころからの学習のたいせつさなどの話を盛り込んで、自らの人生を楽しくユーモラスに話され、参加者も楽しそうに聞き入っていました。

### 感慨新たに

#### 紀貫之の墓参



それぞれの思いを貫之に伝える

恒例となった紀貫之の墓参が今年も十一月十七日から三日間の日程で行われ、国府史跡保存会（乾常美会長）の会員や小笠原市長など三十七人が、比叡山の紀貫之の墓に詣りました。これは、「土佐日記」とそれを著わした紀貫之を身近なものとしようと、昭和五十九年から国府史跡保存会が実施しているもので、今年で六回目。紀貫之の墓も、初めは山中で木々に埋もれていましたが、保存会や、本市出身の比叡山のケール会、社長などの尽力で、今では遊歩道も整備されています。一行は桂浜の五色の石や酒などを墓前に供え、土佐日記船出

### 寒風の中百人が

#### 健康ウォーク

南国ライオンズクラブ（島内正雄会長）主催の第一回南国市健康ウォーキング大会が、十一月二十日、子供からお年寄りまで約百人が参加して行われました。この日は北風が吹く肌寒い天候でしたが、参加者は健脚コース（二・二・六）とジュニアコース（六・六）に分かれて香長中学校前を元気に出発。途中健脚コースに変えるお年寄りもいるなど、それぞれマイペースで高知空港周辺を巡る休日の散歩を楽しみました。



元気いっぱい休日の散歩